

「西之表市立現和小学校の田之脇棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	西之表市立現和小学校
2. 学年・人数	5・6年生（計11人）
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年9月6日～9月20日 現和小学校体育館・校庭 (2) 発表の日時・場所 令和6年9月22日（日） 現和小学校秋季大運動会
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 田之脇棒踊り（たのわきぼうおどり） (2) 由来 1885（明治18）年に山川から同市岳之田部落に松木基助氏他5名の方々が移住されたとき、郷土山川の棒踊りを岳之田で披露したのがはじまりと言われる。 (3) 構成等 6人1組で、陣形を変えながら2人が六尺、4人が三尺の長い棒を打ち合う力のこもった演舞。唄は7番まであり、同じ動きを繰り返す。衣装は、浴衣に襷姿。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	毎年、現和小学校の5・6年生は、田之脇棒踊り保存会の方々から指導していただき、地域の伝統を引き継いでいる。現和小学校の運動会当日は、保存会の方々数名が会場に来てくださり、保存会の方の生歌で子供たちの棒踊りを披露する。 学校と地域が連携協力しながら棒踊りを継承していくために、保存会との連携を密にしている。現和小学校の高学年の担任教諭を中心に、運動会前の事前練習の時間確保に努め、保存会の方々から子供たちが正確に踊りを教えてもらえるようしている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	   保存会の方が指導する様子 運動会での発表の様子 歌を披露する様子
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】棒踊り保存会の方が練習をしながら動作の意味を教えてくださいました。保存会の方の踊りは動作が大きくてカッコよかった。 【教職員】何世代にも渡って踊り継がれることがすばらしい。